

## 第二章 防 災

豊中町は、雨量の少ない瀬戸内式気候で、瀬戸内海を隔てた北方では中国山脈が北風を防ぎ、また南方からの台風は四国山脈に阻まれて、災害の少ない土地柄である。それでも、昭和二十九年の洞爺丸台風や同二十年の枕崎台風などの際には甚大な被害をもたらし、平成七年一月十七日の阪神淡路大震災では震度四の中震を記録している。また平成十六年には、過去最多となる全国で一〇個の台風が上陸し、町内でも八月から十月にかけて、風水害による多くの被害を受けた。

災害は突然襲ってくる。本町では、平成十年四月に『豊中町地域防災計画』をまとめ、関係機関、住民が一体となって、予防・応急対策・復旧・復興に当たるための防災ビジョンを提示しているが、今後も予想される災害から住民を守るために見直しが求められる。

第一節 防災環境と備え

1 災害環境

風水害

本町は、平地が町域の三分の二を占め、台風の襲来も少ないため、災害の少ない地域環境にある。しかし近年、財田川流域における地域開発などで流速が変化し、低地帯では河川の氾濫も懸念されている。

特に、七宝山及びその山麓地帯の桑山、比地大の畑作地帯に見られる花崗閃緑岩や讃岐岩類は風化して崩れやすい。また、急傾斜地危険箇所などが比地大、下高野、岡本の各地区に集中している。

震災

本町周辺部において、特に活動度の高い断層の存在は確認されていないが、県の被害想定では、安政南海地震と同規模の場合は震度五弱から六弱、より影響の強い中央構造線(三野・池田断層)をも高い震度に想定されている。

2 備え

本町の防災事業は、『豊中町地域防災計画』に基づいて実施してきたが、この計画を社会環境の変化に対応して

常に見直し、地域の実情に即したものにしていくなことが求められている。

町内の主な災害

発生年月日	災害の内容
昭和58年 9月28日	台風10号の襲来により、県下に大雨洪水警報が発令。午前9時30分町水防本部設置。比地大地区を除く四地区から、家屋の浸水・ため池、河川の被害が続出。午後7時30分町水防本部解散。 被害状況 滝下川ほか八河川の15か所、町道大滝線ほか5路線の6か所、ため池2か所、農道・水路10か所、水稻浸水80ヘクタール、キュウリ浸水3ヘクタール、床上浸水11戸、床下浸水150戸
昭和62年 10月16日	台風19号が室戸岬に上陸。町水防本部を設置。降雨量830ミリ。 被害状況 町河川被災箇所 10か所 被害額2,700万円 農林被災箇所 20か所 被害額2,437万円
平成元年 4月18日	午後3時45分 七宝山下高野地区林野火災発生。懸命の消火活動にもかかわらず、延焼が続く。自衛隊のヘリコプターを要請。4月22日午前9時40分鎮火宣言。
平成2年 9月16日	台風19号の接近により、大雨洪水警報が発令される。午前4時50分町水防本部設置。9月18日台風通過、午前4時警報解除。 被害状況 家屋浸水 18か所 地滑り 4か所 河川護岸崩壊 5か所 河川越水 7か所 道路損壊 11か所 ため池被害 4か所 水防対策に要した経費 502万9千円
平成16年 8月17日・ 18日  10月20日	台風15号の接近により、17日午後2時20分町水防本部設置。宮川沿いの上高野・本山甲・岡本地区に午後6時28分避難勧告が発令され、122世帯242人が避難。午後10時20分避難勧告を解除し、午後12時町水防本部解散。 18日午前11時10分町水防本部設置。午後5時50分解散。 被害状況 家屋浸水 床上4戸、床下36戸 町道西砂子線ほか2か所、ため池3か所 台風23号の接近により、午前9時50分町水防本部設置。宮川・竿川が増水し、笠岡・岡本・本山甲地区で午後3時30分自主避難を開始、午後8時30分終了。午後9時40分、町水防本部が解散。 被害状況 家屋浸水 床上7戸、床下47戸 町道野津午大道線ほか3か所、町河川2か所、ため池4か所

第2章 防 災

財田川	境目川	黒岩川	0.83	0.20	
"	"	大谷川	0.85	0.42	
"	"	興隆寺川	0.09	0.50	
"	立川	前山川	0.31	0.07	

急傾斜地崩壊危険箇所

箇所名	位置		地形			人家 (戸)	関係土木事務所	担当水防 管理団体
	大字	傾斜度 (度)	延長 (m)	高さ (m)	高さ			
後藤	上高野	45	38	10	4	観音寺土木事務所	豊中町	
三ツ石	笠田岡	70	21	5	3	"	"	
六ツ松	"	40	55	6	3	"	"	
井ノ口	比地大	70	41	9	2	"	"	
丸山	笠田岡	70	46	9	3	"	"	
片山(1)	上高野	35	93	9	6	"	"	
片山(2)	"	40	47	7	3	"	"	
大地	"	60	30	6	3	"	"	
谷11区	岡本	45	455	7	22	"	"	
谷12区	"	60	196	20	11	"	"	
谷14区	"	35	180	9	12	"	"	
高沢	上高野	70	189	10	5	"	"	

河川重要水防区域

(単位：m)

河川名	危険度区分					河川延長計	備考
	A	B	C	D	E		
財田川				300	2,830	3,130	
竿川				980	4,820	5,800	
立川			1,960			1,960	
白池川			2,105			2,105	

町内の危険箇所・区域

山腹崩壊危険地区 (民有林)

地区名	位置		面積 (ha)	担当水防管理団体	関係林業事務所
	大字	字			
岡本	岡本	宮の尾	0.4	豊中町	西部林業事務所

崩壊土砂流出危険地区 (民有林)

地区名	位置		面積 (ha)	担当水防管理団体	関係林業事務所
	大字	字			
眉山	笠田笠岡	三ツ石	0.5	豊中町	西部林業事務所
下高野(2)	下高野	大影	0.9	"	"
岡本(1)	岡本	大石谷	0.5	"	"
岡本(2)	"	滝の上	1.8	"	"
岡本(3)	"	宮の尾	0.5	"	"
岡本(4)	"	滝下	0.5	"	"
比地大(1)	比地大	香地岩	0.8	"	"
比地大(2)	"	黒岩	1.2	"	"
下高野(1)	下高野	興隆寺	1.6	"	"
岡本(5)	岡本	大石谷	0.6	"	"

土石流危険溪流

河川名			地形		備考
水系名	河川名	溪流名	流域延長(km)	流域面積(km <sup>2</sup> )	
財田川	竿川	原谷川	0.20	0.08	
"	"	三ツ石川	0.25	0.08	
"	"	北丸山川	0.30	0.08	
"	"	南丸山川	0.32	0.09	
"	"	滝下川	1.05	0.55	
"	"	墨坪川	0.45	0.15	
"	"	墨坪川	0.45	0.15	

境目川		1,880		290	2,170	
宮川		1,085		2,135	3,220	
滝下川		1,318			1,318	
興隆寺川			350	410	760	
雨田川				740	740	
蓮川		800			800	
加奈子川		500			500	
松山川			500	200	700	
大谷川		110			110	
山窪川		600			600	
池の内川		300			300	

ため池重要水防区域

堰堤名	関係河川名	ため池重要水防区域			重要水防区域(ha)	予想される危険	備考
		堤長(m)	堤高(m)	貯水量(千t)			
新池	滝下川	210.0	6.0	31.0	8	漏水決壊	桑山
二ノ池	〃	167.0	8.0	50.0	18	〃	〃
大池	滝下川	275.0	6.2	92.0	44	〃	〃
裏新池	立川	268.0	6.5	28.0	7	〃	〃
神田池	境目川	680.0	5.0	64.0	28	〃	〃
南池	立川	280.0	5.3	63.5	16	〃	〃
大谷新池	興隆寺	230.0	10.0	100.0	56	〃	〃
玉池	新川	140.0	5.2	72.8	19	溢水	笠田
大津池	〃	340.0	5.0	112.0	29	〃	〃
新古池	立川	100.0	5.0	6.6	2	漏水決壊	桑山
六ツ松新池	松山川	70.0	4.5	7.4	3	〃	笠田
普入池	宮川	155.0	4.9	65.0	22	漏水決壊	上高野
血の池	境目川	96.0	3.0	9.0	5	〃	桑山
荒神池	滝下川	113.0	6.0	15.0	4	〃	〃